

庄内SHIBUGAKI隊プロジェクト実行委員会

活動概要

酒田市平田地域東陽地区を中心として、放置されたり間引きされたりする柿の実を利用した柿渋作りを行い、持続可能な循環型地域社会の実現と野生動物との共生をめざした地域活性化（ローカルSDGs）に取り組めます。

活動内容紹介

柿は里地里山における身近で重要な資源でした。しかし過疎化の進む中山間地域では、放置される柿の木が多く存在します。そこで当会では本市東陽地区を中心に、放置／間引きされる柿の実を利用し、柿渋（※）作りを核とした地域活性化事業に取り組めます。これにより未利用資源を有効活用したコミュニティビジネスや循環型地域社会をめざします。また、放置柿を狙って野生動物が人里に降りてくる頻度を減らし、彼らと共生することにもつながると考えられます。

※未熟柿果汁を発酵させた天然の塗料／染料（防腐／防虫／防水／抗菌／抗ウイルス／消臭効果あり）



年間の活動予定

■事業Ⅰ

- ①放置柿の把握・地図化：6～8月
- ②放置柿（未成熟）の収穫と柿渋仕込み〈参加型イベント〉：8月末
- ③柿渋の仕上げと用途アイデアコンテスト〈参加型イベント〉：1月

■事業Ⅱ

- ①放置柿収穫によるツキノワグマ等野生動物の行動変化に関する市民科学調査：5月～12月
- ②ツキノワグマ等野生動物との共生のための普及啓発ワークショップ

※メンバーの募集状況：イベント時のみ

担当 代表 佐藤 寿 連絡担当 堀 光

TEL 0234-54-2292（FAX兼用）

所在 〒999-6741 酒田市北俣字仁助新田31-1
東陽コミュニティセンター内

メール toyokomishin@lime.plala.or.jp

HP